安永山　楽法寺

保存版

―山門・鐘楼堂落慶法要並び大祖師講法要に向けて―

平成24年4月28日（土）～29日（日）

山門・鐘楼堂イメージ図

目　　次　　頁

住職・総代会長挨拶	1
工事の経過と状況	2
石灯籠・手すり玉石奉納寄進のお願い	5
落慶各種法要案内	6
得度式お祝い金協賛のお願い	１０
稚児行列申込案内	１２
楽法寺の歴史と各種行事	１３
各種申込用紙	１６

住 職 挨 拶

檀信徒各位におかれましては、益々ご清栄にてお過ごしのこととご推察いたします。この度、15年に一度巡り来ます大祖師講法要の報恩事業として、山門改修並び鐘楼堂移転修復工事を企画しお願いいたしましたところ、檀信徒皆様方の敬虔な菩提心と深いご理解、心温まる御浄財を基に、平成24年4月の落慶法要・大祖師講法要に向けて建築工事並び付帯工事が着々と進行しております。

愚僧にとりましても、昭和55年に我が本師当山14世蒼龍俊正大和尚が遷化して以来、7年間の学業・修行にかかる間、檀信徒各位にはご不自由をおかけし、昭和62年に不肖若輩ながら師の法燈を継承し、住職として勤めさせていただくこと早23年が経過いたしました。

爾来、浅学非才の身でありながら今日まで歩んでこれましたのも、檀信徒各位の温かいお心で支えて下さったおかげだと深く感謝いたしております。

また、落慶法要を迎えます年に、亡き本師の33回忌と弟子和貴の得度式を修行できますことは、これひとえに仏天のご加護と更に身の引き締まるお思いでございます。

今後、尚一層布教教化に不借身命を誓い精進を重ねていく覚悟でございますので、この大法要が無事円成いたしますよう、更なるご光被ご策励を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

楽法寺住職　安永　和正

総代会長挨拶

楽法寺檀信徒各位におかれましては、平素より楽法寺への篤いご信仰と寺門護持発展のため、ご尽力を賜り深く感謝いたしております。

またこの度、15年に一度巡り来ます大祖師講法要の報恩事業として、山門改修並び鐘楼堂移転修復工事を始めるに当たり、平成17年にお願い文を配布させていただきましてから深いご理解とご協力を賜り、今日まで順調に工事が進んでおりますこと総代会を代表いたしまして、心より御礼申し上げます。

更に、住職の発願により西塀境内拡張工事並び山門下石階段並びに参道周辺整備工事につきましても、先の総代会にて住職より永代供養墓の供養料の布施金を楽法寺護持のため、多くの檀信徒の皆様が安心して信仰出来る環境整備に役立ててほしい、延いては檀信徒各位の将来、次代に出来るだけ負担を残さないように使っていただくものであるとの言葉をいただき、重ねて工事が行われています。

我々檀信徒といたしましても、ご先祖様をお祀りいただく場として、信仰の手を合わせる場として後世に到るまで大切に守っていかねばならない菩提寺でございます。

住職も今後の寺院のあり方を真剣に模索し、檀信徒各位一人一人がより良き信仰の和をつないで、老若男女が安心してお参り出来る環境を整えるべく、日々精進を重ねておられることは誠に心強く、今後、総代・役員もまた一丸となって平成24年4月の落慶法要・大祖師講法要に向け邁進していく所存であります。

檀信徒各位におかれましても、この大事業・大法要が無事落成いたしました折には、是非ご参拝下さり共にお祝い下さいますよう、伏してお願い申し上げます。

楽法寺総代会長　山本定義

山門改修並び鐘楼堂移転修復工事の経緯と状況

平成 16 年	9 月	山門・鐘楼堂屋根修復について総代会にて提案
平成 17 年	6 月	山門・鐘楼堂の現状を調査、改修並び修復工事を提案
平成 17 年	10 月	山門・鐘楼堂改修並び修復工事を総代会にて決議
平成 17 年	11 月	臨時役員総会で承認
平成 17 年	12 月	檀信徒各位に寄付お願い文を配布
平成 18 年	4 月	寄付積み立て開始　請負業者の選択協議
平成 18 年	12 月	請負業者の選定
平成 19 年	2 月	霜門建設と契約
平成 22 年	3 月	材木の刻削工事開始　主にラオス材を使用
平成 22 年	11 月	山門・鐘楼堂解体工事
平成 23 年	5 月	周辺の付帯工事後に山門工事開始
平成 24 年	2 月	山門・鐘楼堂工事完成（周辺付帯工事を含む）

山門

戦国時代（赤松山浄正寺時代）約 500 年前に小谷城の城門として使用されていたものと伝えられ、当寺が大内町からこの地に移転した際に移築された建造物。

山門は幅約 8 ㍍、奥行き約 7 ㍍、高さ約 5 ㍍。柱など主要部分はケヤキ材で一部にマツ材を使用。両側に瓦を葺きおろす形式の屋根を持つ「切り妻造」で、梁の上には菊の紋章があった。

解体工事後、左右の丸柱２本（ケヤキ材）は、仏師にお願いし観音像（仏像）として本堂に安置し、４本柱（ケヤキ材）は、各家の仏壇で毎日お唱えお祀りされるよう「南無釋迦牟尼佛」と書いた唱名札を作成中。

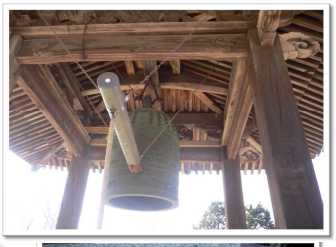
鐘楼堂

当山第 10 世天龍大和尚代の明治 26 年（1893 年）に建立され、以後各家ご先祖様の時刻を告げる役割を果たし、現在は除夜を告げる鐘として親しまれている。

屋根部分の腐敗が著しく４本柱を残し、以前の場所から南に移転修復する。

四天王と呼ばれる瓦は彫刻が凝っていて珍しい。（本堂にて展示中）

新しい鐘楼堂の土台の石積みは、現在では珍しい亀の甲羅の模様に見える亀甲積みの工法。（寄贈　中野石材）



第１期西塀境内拡張工事の経緯と状況

平成 22 年 10 月　　総代会おいて西塀の現状を視察。
現状はひび割れがすごく、塀自体が内側に倒れており
危険な状態が判明。
緊急に総代会において修繕について協議の結果
外斜面の清掃護持の危険性を鑑み、多くの檀信徒が
参拝できる環境として境内を拡張することを決議。
それに伴う工事費用は、現在の社会状況を踏まえ、
檀家各位に追加の寄付を募らず、墓地会計から出費
することを決議。

平成 22 年 11 月　　霜門建設に依頼契約済西塀解体工事開始
工法はＬ型擁壁で、業者による耐震承認済み

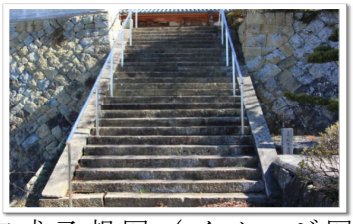
平成 23 年　6 月　　西塀工事完成。
拡張した境内地は髪納め釈迦堂を現状より西南に移転し、
法要によって会場として使用できるよう石庭風にする。

第２期山門下石階段並びに参道周辺整備工事の経緯と状況

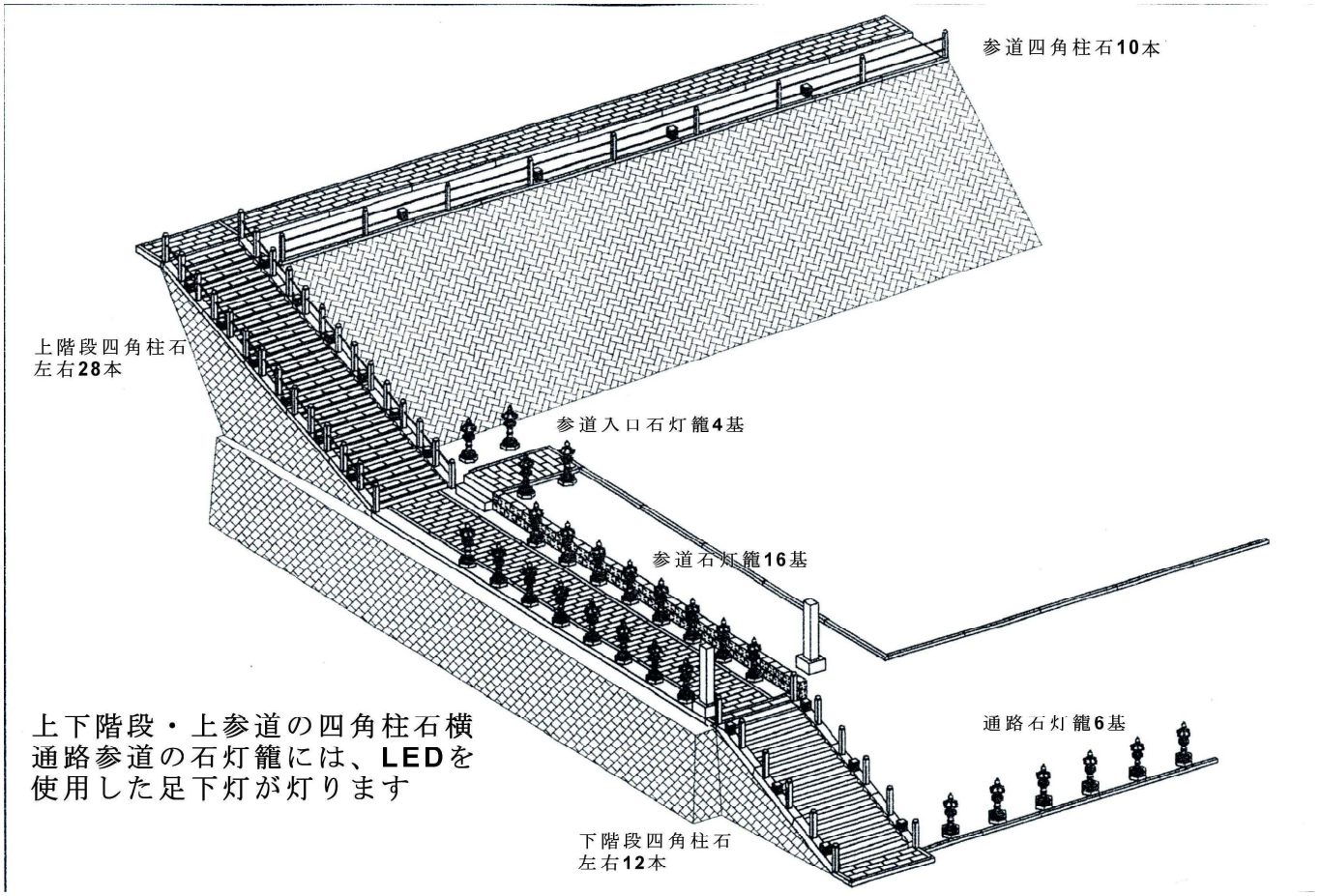
平成 23 年 3 月　　石階段並びに参道周辺整備工事を総代会にて提案。
石階段の現状は勾配が急で足を置く幅も狭く、
高室石を使用しているため各所の割れや欠けて
いる箇所が多く、上参道からの擁壁は桜の根が
石垣を圧していて波を打っている状況。
参道並びに下石階段も同様に桜の根で参道を
持ち上げている状況。

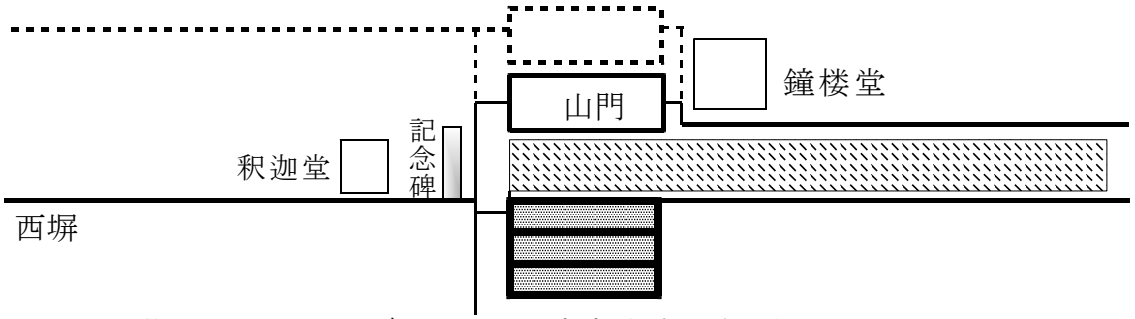
平成 23 年 4 月　　石階段並びに参道周辺整備工事を総代会にて決議。
山門の位置を現状より南に出して境内中央を拡張し、
楽法寺の風格と安全性をもって檀信徒各位が
多く参拝出来るようにする。5 月 1 日役員総会で承認。
それに伴う工事費用は、現在の社会状況を踏まえ、
檀家各位に追加の寄付を募らず、墓地会計から出費
することを決議。
施工者　（株）中野石材

平成 24 年 2 月　石階段並びに参道**工事完成**



完成予想図（イメージ図）





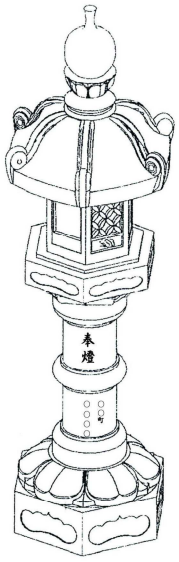
1，　山門の位置を現状より南に出して境内中央を拡張し、
現存の石階段を基礎として使用し、その上にコンクリートで固め
石階段をつける。
勾配をなだらかにして、石の幅を広げて両側に手すりをつける。
手すりは間隔をあけて四角柱石を使用しパイプを通す。

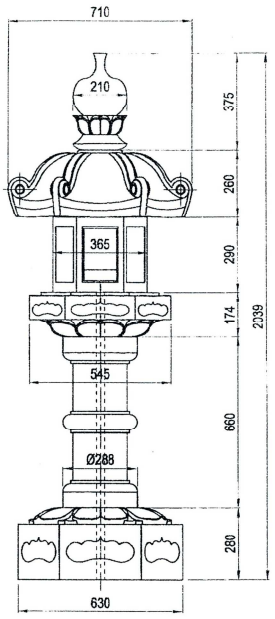
2，　階段西側の擁壁を現存の上に新たに2㍍ほど出して積み上げる。
参道の真ん中には石で通路を作り、両側に等間隔で石灯籠を設置。
階段横の擁壁（桜並木）がふくれて将来危険なため、現存の擁壁の上に
新たに擁壁をして見栄えも良く危険を回避する。

参道石灯籠・階段隅手すり用玉石奉納寄進のお願い

石灯籠並び階段手すりに使用する階段隅手すり用玉石（四角柱石）の奉納寄進者を募っています。
この度の奉納は、滅多に巡り逢うことのない仏縁で、何百年にわたる大きな善根功徳となることと存じます。
奉納いただきました各位には町名・お名前を刻み、後世にその美徳を伝えていきます。

石灯籠





奉納金　一基　20 万円

奉納希望数　　10 基

申込期日　平成 23 年 12 月末日

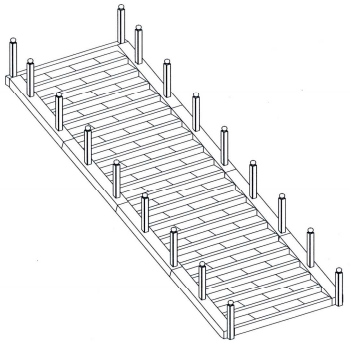
定数になり次第締め切り

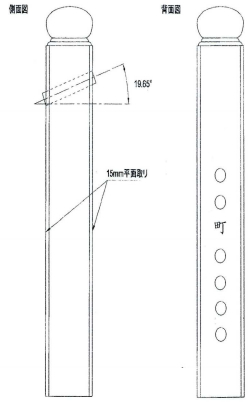
設置場所
駐車場から参道に入る通路 4 基
下階段までの通路 6 基

㊟ 参道の左右 16 基は一括寄付者がおられますので、募集はございません。

参道以外の設置場所は 4 頁の完成予想図をご覧下さい。

階段隅手すり用玉石





奉納金　一柱石　　5 万円

奉納希望数　　50 柱石

申込期日　平成 23 年 12 月末日

定数になり次第締め切り

奉納ご希望の各位は、冊子内の申込書にご記入の上当寺までお申し込み下さい。
尚、灯籠・手すり玉石設置の希望場所は、申込締め切り後抽選にて場所を決定いたします。

ご質問等がありましたら、当寺までご連絡下さい。

山門・鐘楼堂落慶法要・大祖師講法要案内

◎山門・鐘楼堂落慶法要とは

イメージ図

落慶（らっけい）とは、寺社などの新築、また修理の完成を祝う行事のことです。

この度新しい山門が完成し、鐘楼堂の移転修復が無事終了し、檀信徒各位の皆様と共にお祝いの式典を勤めていきます。

かわいい子供達の稚児行列に始まり、山門前で落慶式・鐘楼堂の前で開眼供養を行い、参加の稚児や皆様と一緒に鐘の撞き初めをします。

法要後には餅まきも予定しています。

◎稚児行列

イメージ図

神社・寺院の祭礼・法会(ほうえ)などで、天童に扮して行列に出る男女児祭礼行事に大切な役割として、世の中の汚れや穢れを吸収していない清浄な魂の持ち主である子供は、神霊がとどまりやすく、また神霊であるともされています。そのため信仰の対象にもなっていたのです。

健全な成長とご守護を祈願し、一生の記念に残るお稚児さんですので多くの方々の参加をお待ち申し上げています。

◎弟子和貴の得度式◎

イメージ図

得度（とくど）とは仏教における僧侶となるための出家の儀式です。「得度式」では、弟子の和貴が師匠から髪を落としていただき、衣（ころも）、袈裟（けさ）、坐具、応量器という、僧侶として必要かつ、最も大切なものを頂戴し、お釈迦さまより正しく伝えられてきた「戒法」を受けて、正式に僧侶の仲間入りをする儀式です。

又、得度式とは今まで育ててきてくれた父母に感謝し、自分は仏の子になり、誰も差別なく敬い救済すると誓いをたて僧侶になるための最初の儀式です。

新しい僧侶（こぼんさん）の誕生です。ご一緒にお祝い下さい。

◎大祖師講◎

イメージ図

大祖師講とは、加西市曹洞宗寺院 15 ヶ寺によりまして輪番に御祖師様の御真牌をお預かりし、各教区の御寺院・総代様をお招きして檀信徒の皆様と共に感謝、報恩の誠を捧げる大法要です。

御祖師様といいますのは、曹洞宗をお開きになられました高祖道元禅師様（大本山福井永平寺）そして曹洞宗のみ教えを広くお伝えして頂きました太祖瑩山禅師様（大本山横浜総持寺）の両祖様です。

平成２３年に西横田町の仏名寺様から受け取り平成２４年には当寺が輪番に当たっています。

山門・鐘楼堂落慶法要・大祖師講日程

平成 24 年 4 月 28 日（土）～ 29 日（日）の両日

4 月 28 日（土）
山門鐘楼堂落慶法要・弟子和貴得度式

9：00　稚児行列横尾公民館出発（雨天の場合変更あり）

9：30　山門下階段で稚児記念写真（雨天の場合変更あり）

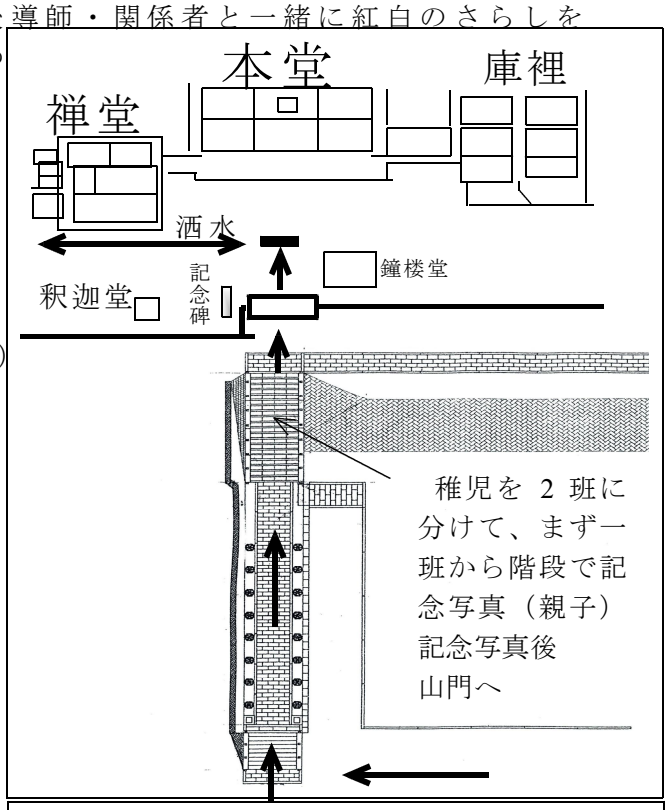
記念写真後、山門をくぐって洒水を受けます。
境内にて参拝者と一緒に山門落慶に参加。

10：00　山門・鐘楼堂落慶法要

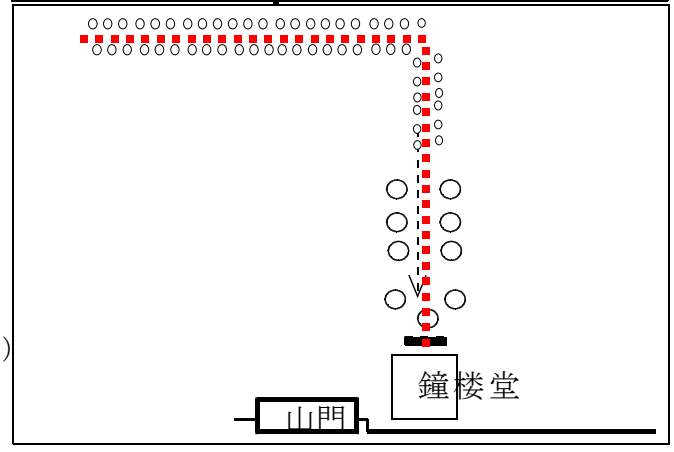
関係者・稚児・檀信徒一同で鐘撞き始め
鐘楼堂で点眼法要後導師・関係者と一緒に紅白のさらしを
もって共に撞き始め

山門落慶
導師・寺院入場
上香普同立三拝（合掌礼拝をします）
浄道場（山門・鐘楼堂を浄めます）
山門法語（ご本尊様に報告します）
読経　般若心経
回向（寺門興隆、檀信徒各位の繁栄を祈念します）
普同立三拝

引き続き
甲乙送迎にて鐘楼堂へ至る



鐘楼堂梵鐘供養
導師・寺院入場
上香普同立三拝
除幕
住持点眼（鐘に魂を入れます）
陳白文一偈（ご本尊様に報告します）
撞初（参加の皆様と撞き初めをします）
読経　般若心経
回向（寺門興隆、檀信徒各位の繁栄を祈念します）
普同立三拝



お稚児さんは禅堂にて着替え場所を用意しています。その後の法要にも参加下さい。

10：45　　**本堂内で賞典下付**

工事施工者に感謝状贈呈

11：00　　**弟子和貴得度式**

得度式

殿鐘三会（緩やかに鐘の音がなります）
大衆上殿（お役の方丈様方が入場されます）
本師上殿（和貴の師匠、本師（受業師）が入場されます）
上香普同三拝（香を薫じて本尊様に向かって三拝されます）
洒　　水（洒水をして道場を浄められます）
受者上殿（弟子の和貴が入場します）
奉　　請（お釈迦さまにご報告します ）
礼　讃　文（この法要の大切さを報告されます）
剃　　髪（髪の毛を剃ります）
授　直　綴（お師匠さまより衣を授かります）
安　　名（僧侶としての名前を授かります）
授坐具衣鉢（僧侶に必要な坐具、お袈裟、応量器を授かります）
授菩薩戒法（仏弟子として生きていくのに必要な戒（菩薩戒）を授けます）
血脈授与（法が師から弟子へと血液の流れに譬えた系譜を受けます）
回　　向（功徳を広く衆生に回らします）
処世界梵（得度式の終わりを告げます）
普同三拝（本尊様に向かってに三拝します）
散　　堂（列席した者めいめいが式場から退場します）

イメージ図

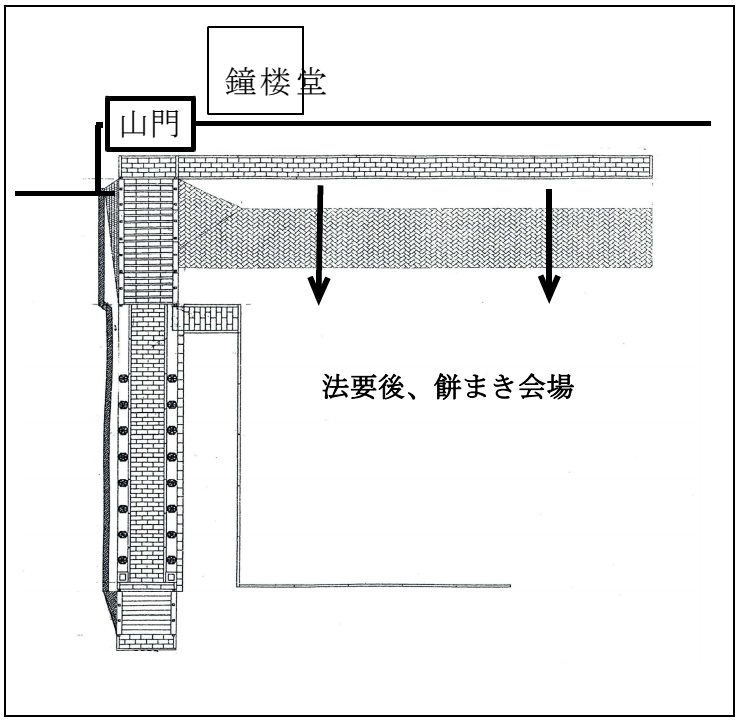
イメージ図

終わって　　**下駐車場にて餅まき**

我々日本人は平安時代の古来より、
おめでたい行事には必ず餅を投げ、
多くの人々にその福を振る舞い、
人々の幸せを願って来ました。
当寺でも新しくなった山門・鐘楼堂
参道周辺のお披露目の意味を込め、
また皆様方の家門繁栄を願い餅まき
をいたします。
法要に参加されました各位は、
下駐車場にお集まりいただき福を
お持ち帰り下さい。

イメージ図

イメージ図



大祖師講・当山 14 世蒼龍俊正大和尚 33 回忌先住忌

15：00　当寺総代・役員、檀信徒集合

15：30　教区御寺院到着

16：00　第 14 世蒼龍俊正大和尚 33 回忌先住忌
（昭和 55 年に遷化された現方丈の師匠への報恩供養）

17：00　迎真諷経・蜜湯諷経
（両祖師様の真牌をお迎えし、甘い蜜湯を捧げる法要）

18：00　薬　　石（関係者の粗飯）

4 月 29 日（日）　大祖師講

8：30　当寺総代・役員、檀信徒集合

9：30　教区御寺院・教区総代到着

10：00　献粥諷経
（両祖様に朝のお粥を召し上がっていただく法要）

11：00　出班焼香
（御寺院方が横一列になってお焼香しお拝をする特別な法要）

12：00　寄付者総回向
（ご寄付をいただいた各家先祖代々の供養）

12：30　本　　膳

14：00　送真諷経
（両祖様の真牌を次の輪番となる西笠原町阿弥陀寺様へお渡しする法要）

加西市曹洞宗寺院 15 ヶ寺によりまして輪番に御祖師様の御真牌をお預かりし、各教区の御寺院・総代様をお招きして檀信徒の皆様と共に感謝、報恩の誠を捧げる 15 年に一度の大法要です。

万障お繰り合わせの上ご参拝下さい。

弟子和貴得度式お祝い金御協賛のお願い

この度、当山16世省龍和正方丈（現住職）のご子息和貴君（9歳）が正式に僧侶の仲間入りをするための得度式が行われることは、菩提寺の将来にとりましても、又、我々檀信徒にとりましても誠におめでたく、感激ひとしおなるものがございます。

現在、和貴君は北条小学校にて勉学に励む傍ら、小僧さんとして和正方丈に就いて毎朝のおつとめ、花まつりや大施食法要等の行事、加西市曹洞宗寺院托鉢にも積極的に参加され、幼少ながら僧侶の修行をされていることは皆様もご承知のことと思います。

つきましては、先の総代会において我々檀信徒も、寺檀和合（寺院と檀信徒の皆様の和合）の精神をもって信仰の誠を共有し、この度の大法要に多くのご賛同ご参加をいただくため、得度式のお祝い金（大祖師講の寄付を含める）をお願いする運びとなり、5月1日の役員総会にて決議賛同をいただきました。

檀信徒各位にもその意をお汲み取りいただき、何卒お祝い金の御協賛にご理解ご協力をお願いいたします。

尚、当日の法要には万障お繰り合わせの上お参り下さいますよう、重ねてお願いいたします。

総代・役員一同

お祝い金　　一口　2,000円

納金方法は24年度寺割り（年会費）納入時にお祝い金としてお納め下さい。

二口以上御協賛いただける場合は、各地総代・役員並び当寺までお伝えの上お納め下さい。

イメージ図

得度式大祖師講の記念品

御賛同・御協賛いただいた檀信徒各位には得度式大祖師講の記念品をご用意しています。

楽法寺オリジナル経本（御詠歌入り）を作成中です。

山門・鐘楼堂落慶の記念品

山門改修・鐘楼堂移転修復工事のご寄付を頂いた各位には、旧山門の柱木で作製していますお仏壇内にお祀りしてご家族でお唱えいただく唱名札（南無釈迦牟尼佛）をご用意しています。

旧山門ケヤキ材

旧山門のケヤキ材腕輪念珠の販売

数珠とはすなわち念珠であり、数を念ずる、あるいは数を記する意味を持ちます。仏教を信じる者、あるいは仏の道を信仰するものが常にこれを持つことにより、煩悩を消滅し、諸願成就することが出来るといわれています。

腕輪念珠は、念珠を常に手にして生活（仏を身近に感じる生活）を送りたいという心から作られました。

当寺でも、この度の山門解体後のケヤキ材を無駄にすることなく再生利用し、皆様の身近に常に手にしていただけるよう腕輪念珠を作成しました。

戦国時代（赤松山浄正寺時代）約 500 年前に小谷城の城門として使用されていたものと伝えられている歴史あるケヤキ材の腕輪念珠です。

自らの厄除けやお守りとして、ご家族やご友人への贈答としていかがでしょうか。

シンプルですが
木目が美しい念珠です

ケヤキ材念珠

心経入ケヤキ材念珠

般若心経が珠全体に刻まれていて有り難い念珠です

ケヤキ材念珠（男女兼用）　奉納金　2,000 円

心経入ケヤキ材念珠（男女兼用）　奉納金　3,500 円

ご希望の方は、冊子内の申込用紙に記入いただき当寺並び各地総代様までお申し込み下さい。
念珠のお渡しは落慶法要後になります。数に限りがあります。

楽法寺オリジナル経本（御詠歌入り）の販売

ご家庭でお唱えするのに記念品の一冊だけでは足りないというお声を多くいただき、有料にてお分けすることにいたしました。

楽法寺オリジナル経本（御詠歌入り）一冊　2,000 円

内容　般若心経、修証義、西国御詠歌、当寺・各町観音堂御詠歌等

ご希望の方は、冊子内の申込用紙に記入いただき、当寺並び各地総代様までお申し込み下さい。
経本のお渡しは落慶法要後になります。　数に限りがあります。

山門・鐘楼堂落慶法要記念行事
稚児申込ご案内

平成 24 年 4 月 28 日（土）山門・鐘楼堂落慶法要を営むにあたり、このよき日に稚児行列を行い花を添えていただく稚児を募集いたします。

ぜひこの機会にご参加をいただき、み仏の知恵と慈悲にあやかり、かわいいお子様方がますますご無事に賢く優しい子に御成長されんことを祈念致します。

稚児参加料金　　金３、５００円

料金に含まれるもの
（男子）烏帽子・金襴衣・白衣等一式　念珠　花　お土産　記念写真代
（女子）天　冠・金襴衣・白衣等一式　念珠　花　お土産　記念写真代

応募資格者　　０歳～１０歳以下

檀信徒にかかわらずどなたでもご参加できますのでご親戚・ご友人にもお声をかけて下さい。

申し込み締切日　平成 24 年 3 月 31 日

※　衣装引き渡し日につきましては後日連絡申し上げます。

※　業者が衣装の引き渡し日に着付け指導等から
当日の後片付けまでお世話いたします。

※　当日午前 9 時から横尾公民館出発となります。
当日は運動靴でご参加ください。
詳細につきましては、申込後に配布いたします。

※　行列参加の稚児は鐘楼堂の撞初めにも参加いただきます。

※　小学校 6 年生以上の方のお申し込みはご遠慮下さい。

稚児衣装申込参考寸法

大小別	特小	小	中	大	特大
身長	86 ～ 97 ㎝	98 ～ 110 ㎝	111 ～ 122 ㎝	123 ～ 134 ㎝	135 ～ 146 ㎝
参考年齢	満２．３才	満４．５才	満６．７才	満８．９才	満９才以上

稚児参加希望の方は、冊子内の申込用紙に記入いただき、当寺並び各地区総代・役員までお申し込み下さい。
ご質問等がありましたら、当寺までご連絡下さい。

安永山　楽法寺の歴史と各種行事

楽法寺の歴史

　加西西国霊場第一番札所になっています安永山楽法寺は、戦国の武将赤松氏と何らかの関わりがあったと伝えられています。

　赤松氏は戦国時代にかけて播磨地方に強い勢力を持ち、小谷城を始め各地に城を築いています。

　赤松氏の王子為重卿（ためしげきょう）の手により最初は現加西市大内町に建堂されます。最初の寺名は赤松山浄正寺と呼ばれ、為重卿が病に倒れた際、安置していた清水観音を信仰して治まったことから、別名清水寺とも呼ばれていました。

　その後善称寺と寺名が変わっていきましたが、戦乱などで衰退していきます。そして、承応元年（１６５２年）今から約３５０年前に現在のこの地に移築し、本尊釈迦牟尼仏を安置し、姫路景福寺第十四世然室尖廓大和尚を招き、天台宗だったのを曹洞宗に改めて楽法寺として姫路景福寺の末寺となったわけです。

　現在の本堂は平成１２年に建立され、約３００年ぶりに新しく建て変わりました。

　楽法寺にゆかりの深い大本山永平寺貫首宮崎奕保大禅師猊下をお迎えして落慶法要が行われました。

皇寿観世音菩薩と蒼悟苑

平成５年、禅堂裏に総丈６メートルの石仏観音像と庭園を造成。
大本山永平寺貫首奕保大禅師猊下をお迎えして落慶法要が行われました。

　名称を皇寿観世音菩薩（こうじゅかんぜおんぼさつ）とし、長寿の観音様として親しまれています。

　庭園の名称は蒼悟苑（そうごえん）とし、鳳凰が舞い降りる安らぎの世界をイメージしています。

　毎月１８日に観音講が行われ、１２月１５日には、
長寿、ぼけ封じ、厄除けなどの祈祷法要が盛大に行われています。

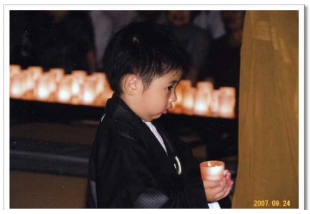
永代供養墓「慈愛」

　少子化による子孫への継承が危うい状況や個人の価値観の多様化が進む現代、お墓にもその影響が表れつつあります。
　お墓の継承者がいない方、子供があっても世話になれない事情の方、独身の方、等々お墓を求めることが難しい現状がございます。
　そのご要望に真摯に耳を傾け、次世代型墓地として永代供養墓「慈愛（じあい）」を建立いたしました。

　永代供養墓「慈愛（じあい）」の特色は、御影石のみを使用し、組み合わせて建てていく工法で、地震にも強く、風化もしない半永久的な構造で、全国でも類のない建造物となります。
　外観は、幅5㍍、奥行3㍍、高さ3.2㍍の大きなお墓です。宗教・宗派を問わず誰もが安心して入れるお墓です。

秋彼岸万灯会

　古くからお寺は多くの方々が集まる安らぎの場であり、信仰の場でありました。
　秋彼岸万灯会はその原点に戻って、イベントを通して未来を担う子供達の情操を育て、お参りの 一人一人が蝋燭の明かりに照らされながら、大切なご先祖様の御霊に感謝する法要、又、親子の絆、かけがえのない命の大切さを学び、多くの方々の幸せを祈る法要を目指しています。



　万灯のあかりが夕闇を美しく彩り清らかな鐘の音が響き渡る中、厳粛に法要が始まります。子供達の献灯、先祖供養、各僧侶が堂内を巡って色とりどりの散華が降り注ぎます。

追伸　毎年檀信徒各家（棚経をお参りした各家）の献灯を本堂内にお祀りしています。
この法要は他に類をみない厳かで美しい法要です。
更に、この献灯はお持ち帰りいただくことが出来ます。
是非ご家族皆様でお参りいただき、ご先祖様の献灯をお仏壇にお祀り下さい。

その他各種法要

1月　1日　修正会・年始挨拶
5月　8日　花まつり釈尊降誕会
8月　7日　大施食会・永代供養特別法要
12月15日　祖師講並びに皇寿観音像祈祷法要
12月31日　除夜の鐘
夏・冬　　托鉢
毎月　　観音講・写経会

ホームページもご覧下さい

一段と見やすくなり、行事案内や楽法寺だより等を一層わかりやすくしました。

更に**住職のブログも追加**され、リアルタイムに楽法寺の情報を発信できるようになっています。

http://rakuhoji.com

楽法寺　検索

安永山　楽法寺

675-2311
兵庫県加西市北条町横尾３番地
TEL　0790-42-0293　　FAX 0790-42-3849
URL　　http://rakuhoji.com
E-mail　info@rakuhoji.com

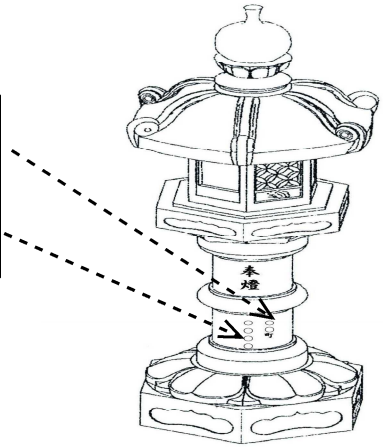
参道石灯籠奉納寄進申込書

奉納金　一基　**20** 万円

郵便番号	－　　－	住所	
ふりがな 氏　　名		電話番号	
奉納灯籠数	基		

町名・お名前を刻みますので下記の空欄に記入して下さい。
複数お申し込みの場合は別紙にてお書き下さい。

町名（市名）	
奉納者氏名	



石灯籠設置の希望場所は申込締め切り後抽選にて決定いたします。

詳細は 5 頁をご覧下さい

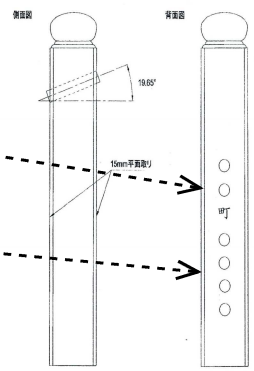
階段隅手すり用柱石奉納寄進申込書

奉納金　一石　５万円

郵便番号	－　　－	住所	
ふりがな 氏　　名		電話番号	
奉納柱石数	柱石		

町名・お名前を刻みますので下記の空欄にお書き下さい。
複数お申し込みの場合は別紙にてお書き下さい。

町名（市名）	
奉納者氏名	



手すり用玉石設置の希望場所は申込締め切り後抽選にて決定いたします。

詳細は 5 頁をご覧下さい

旧山門ケヤキ材腕輪念珠申込書

ケヤキ材念珠奉納金　　**2,000** 円

心経入ケヤキ材念珠奉納金　　**3,500** 円

郵便番号	ー	住所	
ふりがな 氏　　名		電話番号	
ケヤキ材念珠		個	
心経入ケヤキ材念珠		個	

念珠のお渡しは落慶法要後になります。

詳細は１１頁をご覧下さい

楽法寺オリジナル経本（御詠歌入り）申込書

楽法寺オリジナル経本（御詠歌入り）一冊　**2,000** 円

郵便番号	ー	住所	
ふりがな 氏　　名		電話番号	
楽法寺オリジナル経本		冊	

経本のお渡しは落慶法要後になります。

詳細は１０頁・１１頁をご覧下さい

山門・鐘楼堂落慶法要記念行事稚児申込書

稚児衣装申込参考寸法

大小別	特小	小	中	大	特大
身長	86 ～ 97 ㎝	98 ～ 110 ㎝	111 ～ 122 ㎝	123 ～ 134 ㎝	135 ～ 146 ㎝
参考年齢	満２．３才	満４．５才	満６．７才	満８．９才	満９才以上

《稚児申込書》参加費を添えて各地区総代役員並び当寺までお申し込み下さい。

地区名		住所			
ふりがな 保護者氏名		電話番号			
ふりがな 稚児氏名		男　女		サイズ	
ふりがな 稚児氏名		男　女		サイズ	
ふりがな 稚児氏名		男　女		サイズ	

詳細は１２頁をご覧下さい

《衣装引替券》衣装とお引き換えの時にご持参下さい。

上記の申込書と同じく記入して各自保管ください。

地区名		住所			
ふりがな 保護者氏名		電話番号			
ふりがな 稚児氏名		男　女		サイズ	
ふりがな 稚児氏名		男　女		サイズ	
ふりがな 稚児氏名		男　女		サイズ	